

泊発電所の**一日も早い発電再開**に  
ほくてんグループの**総力をあげて取り組んでいく**



地域とともに未来をひらく

東北電力

原子力発電所の安全性向上に向けた取り組みを、  
引き続き進めていく。



東京電力

柏崎刈羽原子力発電所のより一層の安全性向上対策や  
運用面での改善に取り組んでいく。



中部電力

原子力を引き続き重要な電源として利用することが不可欠

# 決意表明！



北陸電力

シーム：破碎帯

敷地内シーム等に関する審査や新規規制基準適合性審査に  
的確に対応し、**早期再稼働をめざす**



関西電力

電力需給の安定化を成し遂げるべく、  
原子力プラントの**早期再稼働を目指す**



Enercia

中国電力

世界最高水準の安全性を不断に追求し、  
みなさまに安心していただける原子力発電所を目指していく。



四国電力株式会社

YONDEN しあわせのチカラになりたい。

**早期再稼働の実現を目指していく**



九州電力

ずっと先まで、明るくしたい。

原子力発電所の**早期の再稼働を目指す**、  
玄海3、4号も含め、引き続き国の審査に全社を挙げて対応していく。

## 電力各社

## 有価証券報告書

2013年度(2013年4月～2014年3月)

## 「対処すべき課題」より

**原発再稼働の決意表明**と取れる部分を抜き出しました。

さらに複数社は**原発の位置付け**についても言及

## 東北電力

エネルギー資源のほとんどを海外に依存しているわが国において、原子力発電は、安全確保を前提に、**エネルギーの安全保障、低炭素社会の実現**、さらには**経済性**の観点から重要な電源である。

## 北陸電力

**供給安定性、経済性**に優れ、**発電時にCO2を排出しない**ことから、ベースロード電源として今後も引き続き重要な役割を担う

## 中部電力

エネルギー資源の乏しいわが国において、化石燃料価格の高騰や地球温暖化という課題に対処しつつ、将来にわたり**安定的**にエネルギーを確保していくためには、安全の確保と地域の信頼を最優先に、原子力を引き続き重要な電源として利用することが不可欠である

さらに中国電力は。。

**上関**地点については、化石燃料への依存度低減等の観点から、当社にとって重要な電源であり、国のエネルギー政策の検討状況等を注視しつつ、引き続き広くみなさまのご理解を得ながら**開発に向け取り組んでいく**。

## 私の感想

2014年2月7日にもここで同じように2012年度の有価証券報告書を紹介しました。(参考資料②)  
そのときとほとんど変わっていません。全社揃って原発再稼働を目標に爆走中です。  
中国電力に至っては再稼働どころか新規開発もあきらめてません。。  
ここでは「対処すべき課題」という項目に注目したのですが、放射性廃棄物の問題はどの会社も触れていません。「課題」じゃない？それとも国任せ？  
いずれにしても各社に共通するのは『今』しか見ていないことだと思います。  
10年後、100年後、1000年後、10000年後。。  
原子力という技術はこれまでの技術にない超長期の視点が欠かせないはずですが。  
100年後の教科書に『今』の時代がどのように書かれるのか？  
『今』世界中で考え方を変えないと、取り返しがつかないことになってしまいます。

<参考資料>

①EDINET (金融庁 有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト)  
<http://disclosure.edinet-fsa.go.jp>

②茶色の朝を迎えないために 官邸前展示ポスターコーナー

<http://brownmorning.s3-website-ap-northeast-1.amazonaws.com/html/kanteimaedoc.html>